

心のバリアフリー 障がい者と「働く」

ほんの少しの気遣いで 精神障がいを抱えながらも、自分らしく働く小石川さんと阿部さん。それぞれの職場で話を聞きました。

主に介護が必要な高齢者が暮らす「有料老人ホーム」
株式会社エイチ・エス・エー ひなた飯泉寮



小石川岳さん

気づけば、5年以上続けています

初めは、利用者さんを怒らせてしまったことがありました。きっと、私が自分のペースで仕事をしてしまっていたからだと思います。でも、上司や周りの皆さんが、私を理解し、利用者さんへフォローをしてくれました。5年以上続いた今では、役割の仕事をごこなすのはもちろん、ヘルパーさんのお手伝いをして、感謝されることもあります。利用者さんともうまくやっています。



よい流れを邪魔しない

小石川さんが支援の登録をしていた「障害者支援センターぽけっと」からの情報を、最初に私たちスタッフ全員で共有しました。初めは



仕事に苦労しているようでしたが、あえて声をかけることはせず、そっと見守りました。仕事に慣れた今では、私にはできないくらい丁寧な仕事ぶりです。私たちの会社には、身体障がいのあるスタッフもいます。そのスタッフには、別の配慮をしています。仕事がかどらないときは、その人が悪い訳ではなく、仕事の内容が合っていないだけ。皆で理解し合うことで、自然と職場全体の雰囲気はよくなっています。



株式会社エイチ・エス・エー 統括部長 今井静さん

仕事を通じて認め合うこと

「ぽけっと」では、障がい者の仕事や生活の支援などを行っています。今回紹介した事例では、障がい者と企業、一緒に働く人が、「仕事」を通じて認め合うことができ

ます。しかし、それぞれの考え方にずれが生じると、うまくはいきません。これを機会に、障がい者と「働く」ことについて、考えてもらえたらと思います。



障害者支援センターぽけっと 主任 恩蔵幸一さん

全国に展開する「100円ショップ」
株式会社キャンドウ 小田原ダイナシティイースト店



阿部裕治さん

少しでも、お店に貢献するために

バックヤードでの検品や品出し、接客が私の仕事です。9年仕事をした今も、精神的なプレッシャーが大きいレジ業務は、他のスタッフにお願いしています。それでお店に迷惑をかけているなど感じることもありましたが、今はその分、品出しと接客で頑張ろうと思っています。もしお店で商品の場所が分からなかったら、私に聞いてください!



その人としっかり向き合うこと

2年前にこの店舗に異動してきたとき、阿部さんが障がい者であるとは思いませんでした。前任者から引き継いだ、「急な刺激を与えない」などの配慮はして



いますが、仕事では本当に頼りにしています。私自身、障がい者は簡単な作業しかできないだろう、接客は無理ではないかと思っていました。でも、一緒に仕事をして考えが変わりました。障がい者であっても一緒に働けます。大事なのは、しっかりとその人と向き合うこと。そこに障がいの有無は関係ないですね。もし、障がい者の雇用を考えている人がいたら、まずは面接を試みるといいかもしれません。



株式会社キャンドウ 小田原ダイナシティイースト店店長 渡辺興太郎さん

障害者支援センターぽけっと

相談日 月～金曜日 8:30～18:00
第2～4土曜日 9:00～17:00
場所 曾比1786-1(小田急線栢山駅から徒歩1分)
相談方法 ☎39-2007 ☎36-0030
メール(pocket@hataraku-kurasu.jp)または直接